

# 平成 30 年度 第 1 回 大田区子ども・子育て会議(議事要旨)

日時：平成 30 年 6 月 29 日（金）18 時 30 分から 20 時 30 分まで

場所：消費者生活センター 2 階 大集会室

出席委員：澁谷委員、西川委員、池上委員、北澤委員、江尻委員、加藤委員、平石委員、菊地委員、齋藤委員、内山委員、広瀬委員、園田委員、岡元委員、鈴木委員 14 名

区側出席者：水井こども家庭部長、中村子育て支援課長、曾根副参事（放課後居場所づくり担当）、堀江子ども家庭支援センター所長、白根保育サービス課長、間保育サービス推進担当課長、早田副参事（保育基盤整備担当）、森岡教育総務課長、増田幼児教育センター所長 9 名

傍聴者：5 名

## 1 開会

**【中村課長】**平成 30 年度 第 1 回大田区子ども・子育て会議を開会する。

本日、青少年対策地区委員会の石垣委員は、所用により欠席とのご連絡をいただいている。

本日の会議は議事要旨作成のため録音させていただく。また、議事要旨は区のホームページで公開する予定である。

はじめに会議の開会にあたり、こども家庭部長水井より挨拶を申し上げる。

## 2 部長あいさつ

**【水井部長】**先日、保育園の待機児童数を発表した。昨年の 572 人から 250 人に半減したが、23 区では 4 番目に多い数字である。

一方、子どもに対する事件が発生している。先日は目黒区で虐待によりお子さんが亡くなる事件が発生した。背景には家庭で地域とのつながりが薄れている、家庭教育がうまくいくなっている状況がある。こうした状況をしっかり行政としても支援していかなければならない。区は児童相談所の設置場所を大森西地域に決めて議会に報告した。今後地元の皆さまに説明していく予定である。

このように待機児童対策や児童相談所の設置等様々な取組みにより、大田区の子ども子育てをしっかりと支援していく。皆様のお力添えをよろしくお願ひしたい。

## 3 事務局紹介

**【中村課長】**この度、新たに委員に就任された 2 名の区議会議員の方へ委嘱を行う。本来なら、一人一人に委嘱状をお渡しするところだが、今回は略式で机上に用意した。任期は平成 31 年 3 月 31 日までである。

本日は、今年度第 1 回目の会議のため、各委員に自己紹介をお願いする。（委員自己紹介）

次に、事務局を紹介する。（事務局自己紹介）

この後の進行は澁谷会長をお願いする。

## 4 議事

### (1) 子ども・子育て支援法第 31 条第 2 項に基づく意見聴取

**【澁谷会長】**はじめに、議事(1)子ども・子育て支援法第 31 条第 2 項に基づく意見聴取について、事務局から説明をお願いする。

**【森岡課長】** 資料 2-1 により、幼稚園 3 園の認可定員等を説明

**【早田副参事】** 資料 2-2 により、平成 31 年 4 月認可予定の保育園 5 園の認可定員等を説明

### <主な質疑>

**【齋藤委員】** 幼稚園の 9 時から 14 時までの開園時間の前後で何か事業を実施しているのか。

**【森岡課長】** 各園とも教育時間以外に預かり保育を実施している。若草幼稚園は 8 時から 9 時までと 14 時から 18 時まで、大森ルーテル幼稚園は 7 時 30 分から 9 時までと 14 時から 18 時 30 分まで、雪谷ルーテル幼稚園は 14 時から 17 時までである。

**【池上委員】** 保育所の代替園庭を指定する場合、複数の園で重複しないように考慮しているのか。

**【早田副参事】** 実際に代替園庭として重複する公園が複数あることは承知している。ただし、指定している代替園庭だけではなく、近隣の公園を利用するなど、目的や状況に応じて対応している。

**【澁谷会長】** 5 番目の保育所は代替園庭と指定した公園面積が小さいが、予め現状を確認しているのか。

**【早田副参事】** 確認し、公園だけでなく、園庭がある保育園の活用も案内している。

**【岡元委員】** 代替園庭までの距離や園児一人あたりの面積基準等はあるのか。

**【早田副参事】** 代替園庭の要件については、都のガイドラインで示されている。トイレや手洗い場があること等が条件となっている。また、公園までたくさん歩かせることを運営方針としている園もある。

**【岡元委員】** 幼稚園と違い、保育園は運営方針を元を選択するというよりも、入れる園が限られている。園児ができるだけ近いところで遊べる環境を整備してほしい。

### (2) おおた子ども・子育てかがやきプランの策定について

**【澁谷会長】** 議事 4 の(2)おおた子ども・子育てかがやきプランの策定について、事務局から説明をお願いします。

**【中村課長】** 資料 3 に基づき、プラン策定の趣旨、30 年度、31 年度の取組み内容や策定スケジュール等を説明。

### <主な質疑>

**【西川委員】** 事業者にはどのようなことを委託するのか。また、調査は保護者だけでなく、子どもの声を聞いてはどうか。

**【中村課長】** 調査票の作成や郵送による調査等の実施、集計などが委託内容である。調査票は国の通知等を踏まえて作成する。また、調査対象に中高生本人を含めることで、子どもの声を聞く予定で

ある。

**【池上委員】** スマートフォンで回答できれば調査の精度が上がるのではないかと。

**【中村課長】** 今回は、WEB調査等は予定していない。調査手法については、次回以降検討していきたい。

**【齋藤委員】** プラン策定にあたっては、待機児童対策のためのニーズ量の把握が中心だと思うが、一方で、大田区は児童相談所を設置する動きがある。数だけの視点ではない検討も必要だと思う。また、大田区は子どものための事業が多いが、知っている人と知らない人がいる。事業の周知と併せてニーズ量だけではない、子どもへの視点も必要だと思う。

**【中村課長】** 利用希望の把握では、数字だけではなく環境の希望もある。計画量をどう満たしていくかという数や環境だけでない部分をしっかり計画に盛り込んでいきたいと思う。

**【澁谷会長】** 例えば、教育部門でもいろいろな調査を行っていると思うので、教育とその他の部局でどのような連携ができるかということを準備段階から整理していくことも必要だと思う。

**【池上委員】** 回答した方に調査結果をフィードバックするのか。

**【中村課長】** 個人へのフィードバックは行わないが、調査結果は公表する。

**【内山委員】** 保育の質が担保されているのか疑問に思う。保育士不足の中、長期間休んでいた保育士が働き始める場合、現状の保育基準に合った保育ができるのか疑問に思う。アレルギー対応ができない保育士もいる。保育士への再教育が必要ではないか。特に私立園の保育士に対する研修が必要だと思う。

**【白根課長】** 区は潜在保育士の掘り起しを行う中で、研修内容を強化しているが、なかなか出席できないという声も聞いている。研修に出られる環境づくりも課題である。

## 5 情報提供（1）平成30年度予算事業について

**【澁谷会長】** 5の情報提供（1）の平成30年度予算事業について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】** 資料4に基づき、保育所の開設整備や子育て支援スペースの新設、不登校児童・生徒支援体制の拡充など、こども家庭部と教育総務部の主な事業を抜粋して説明した。

### <主な質疑>

**【池上委員】** 公有地を活用した保育所整備など、新たな施設を整備する場合、将来的に子どもの数が減った場合、新たな負の資産にならないのか。

**【早田副参事】** 現状はマンションの一室を改装するなどして施設整備を行っている保育所が多いが、仮に保育所をやめた場合は、スケルトンで返却する契約としている。

**【西川委員】** 低賃金で雇用も不安定な非常勤保育士が多いと思うが、応援手当の支給は常勤保育士のみなのか。

**【間課長】** まずは常勤保育士の定着を図るため、現状は常勤のみを対象としている。29年度の実績としては1,806名の保育士に支給した。

**【池上委員】** 幼稚園教諭への応援手当はないのか。

**【森岡課長】** 保育士への手当は、待機児童対策として実施している。現状では幼稚園には同様の制度はない。幼稚園の人材確保への影響等を踏まえ、検討していく。

**【池上委員】** 子育て支援スペースの今後の整備計画はあるのか。

**【広瀬委員】** 子育て支援スペースの配置が区内で偏っている。北千束などの児童館が少ない地域への設置は考えていないのか。

**【白根課長】** これまでは、更新時期を迎えた区立保育園の改築を機に整備しており、次の整備計画としては、新蒲田保育園に整備する。現在、区内全体の配置について検討しており、設置場所に偏りが無いよう、次期かがやきプランで示したいと考えている。

**【池上委員】** 児相OBや警察OB等の専門人材は、具体的にどのような業務を行うのか。

**【堀江所長】** 虐待等に関する職員への助言や現場対応、会議への出席などケースワーカーに近い業務を行っている。専門人材の知見を職員に伝えてもらうことで職員のスキルアップが図れる。

**【西川委員】** 虐待の未然防止のために行うフットサル大会の開催で、費用対効果をどうはかるのか。

**【堀江所長】** より多くの区民の皆さまに児童虐待防止について理解してほしいとの考えがある。また、スポーツは不特定多数の方が集まりやすい。広く啓発ができるというメリットがある。

**【北澤委員】** 弁護士はどのようなことを助言指導するのか。

**【堀江所長】** 虐待に関する日々の業務において、法律の知識が必要な場面が多い。また、児童福祉法等の関連法令も改正されるなど、専門的な知見を持つ弁護士の助言をいただき、現場での適切な対応に繋げている。

**【池上委員】** 不登校の原因をどう認識しているか。先生に起因する不登校もあるのではないかと。先生に対する教育を実施しているのか。

**【増田所長】** 不登校の3大原因は友人、生活、勉強だが、特定できないケースも多い。複合的な要因で不登校になる場合が多い。各学校への指導訪問や生活指導主任会を通じていじめや不登校問題の解決にあたっている。

**【北澤委員】** 学級集団調査は小学校でも行わないのか。

**【増田所長】** 小学校への調査については中学校の状況を見てから検討したい。

**【北澤委員】** スクールカウンセラーを全ての小学校に配置できないのか。

**【増田所長】** 都費のスクールカウンセラーは全小学校に配置済。小学校でのニーズが多いことは把握している。池上会館にもカウンセリングができる職員を配置するなど、区としての窓口も設置している。

#### **情報提供（2）幼稚園保育料の改定について**

**【澁谷会長】** 情報提供（2）の子ども・子育て支援新制度における幼稚園保育料の改定について、事務局から説明をお願いします。

**【森岡課長】** 資料5に基づき、私立幼稚園の保育料が国基準の変更に伴い改定されたことを説明（質疑なし）

**【中村課長】** 次回の会議は8月末を予定している。開催通知については、改めて委員の皆様にお送りする。

**【澁谷会長】** これをもって、平成30年度第1回大田区子ども・子育て会議を終了する。